

澎湖列島の形勢

氣候

岳なく風強くして喬木を見ず此の島は澎湖漁翁白砂の三島及び
其他近傍の諸島を合せて之れを澎湖列島と総稱し現時澎湖島
の馬公媽公に澎湖廳を置きて列島を管治す馬公港は珊瑚礁多
く且つ水深きを以て大船を碇泊するに便なり本島は臺灣の咽喉
に當るを以て古來事あるときは必争の地なりき
本島の氣候は全く熱帶性にして一船に夏季雨多し北部は南部
に比して氣候の變動大にして且つ急激なり西部は一般に溫度
高く夏季雨多しと雖も冬期は常に天氣清明にして疫病の流行
することなしといふ概して本島は風力強く暴風常に絶ゆるこ
となし

本島の住民は土人及び支那人あり近來亦本州人の移住するもの
日に多し土人は二部となす其一是東部の深山幽谷に住する
蠻民にして殺伐を好み人を殺し首級を得るを名譽となす平常

臺灣の住民

臺灣の産業

蕃人の風俗習慣

狩獵捕魚を以て産業とし屢ば外人に對して殘忍の舉動をなす
所謂生蕃なるものなり一は所謂熟蕃なるものにして高原及び
平野に住し支那人に接し大にその文化を採り耕作漁業を勤め
衣服風俗支那人に似たり又支那人は多く福建廣東地方より移
住せるものなり

臺灣は地味豊饒にして米産に富み又多く甘藷を栽り米甘藷
共に一年二回の收穫ありその他主なる産物は砂糖麻樟腦硫黃
等とす又砂石石炭は現時盛んに基隆附近にて採掘す
臺灣の諸蕃族は風俗習慣大抵大同小異なり部落に重大の事件
を生じたる時は蕃人は鐵鈴を腰に着けて以て其集會を報じ事
の大小皆議決に依て定むと云ふ

又此等種族は輒もすれば怒に乗じて争鬭を起し負傷の多き者
を以て負者となし賠償を爲さしむ又復讐は最も蕃人の尊敬す

○衛生醫藥

る所なり蕃人が人を殺すは只だ頭顱を得て威勢を張らんと欲する爲にして食人の風は現今全く失せたりといふ此等種族は一般に檳榔子を嚼む又酒を嗜むこと甚しく苟も之を得れば老幼に論なく日夜痛飲耽醉して醒むることを知らず衛生醫藥の事は一切知らず故に外人の此地に来るや土人多く藥を求めて治を乞ふといふ又宗教といふものなしと雖も生蕃諸族は祖先の神靈を尊み祭ること甚しく酒を飲んとする時は先づ數滴を地上に注ぐ蓋し地下の神靈に謝する意なり熟蕃は愚直なるを以て耶蘇教の感化を受け同教を信する者多し婚姻の習俗は種族に依りて多少の異同ありと雖も其諾否如何は一に子女の權に在りて兩親は毫も之を左右すること能はず一般に婦は夫の家に嫁するものなりと雖も或一種族は夫妻の家に行き婦の家人となるといふ

○婚姻

○葬祭

○住居の形

葬祭は一般に屍を水牛の皮に包み死者の衣服兵器皆石を以て割せられたる墓地に置き石片を以て覆ひ之を葬る家族に非らざれば之れに近くことを許さず又迷信非常に深く世事皆怪神妖靈の爲す所となし鳥語を聞きて吉凶を卜す住居の形狀構造は各種に依りて大異ありと雖も溫和なる者は殘忍なるものに比して大に勝る所あり下等なる者は丘側に穴を穿ち其内に住す汚物積りて虫を生じ耐へざるに至れば又他の穴に轉す又或る者は大樹に倚りて柱となし不規則なる家屋をなし或は樹枝を以て屋根となすものあり南岬に住する上等なる者は樹木を以て支柱となし竹を以て支柱とし其上に藁を葺き稍々整頓したる家屋を作る南部海岸に住する者は亦日光に乾したる煉瓦と竹と藁とを以て家屋を作る臺灣は第十四世紀の頃まで未開の人民之に棲息して其事蹟

○台湾の沿革

遷然たり其初めて支那に知られたるは明朝の時なり我國足利氏の末國內大に亂れしかば九州及び四國の浮浪の輩黨を集め海上に浮び八幡大菩薩の旗を樹て臺灣を根據地とし支那の南岸を奪掠したることあり所謂倭寇なるものにして大に支那人を震怖せしめしと云ふ第十六世紀の頃蘭人之れに據りて勢力を振ひしが遂に支那人の爲めに其權力を奪はれたり清朝の初め明の遺臣鄭成功の起るや臺灣を以りて根據の地となし明の恢復を圖りしが成切没して後ら遂に清國の版圖に屬し後劉銘傳本島の邊撫を命せられ頗る經營改革に力を盡せり明治廿七年我邦清國と戦端を開くや我軍は最初澎湖島を領し以て全島を征服せしが馬關條約に因り本島及び諸屬島皆我が領土となれり

○北州區 (北海道及千島)

◎西部地方旅行



北州は本州の最北に位せる大島及び其東北に羅列せる諸島即北海道にして其廣さ九州と四國を合せたる物の二倍に等し其大なるものは往古蝦夷の地にして近年の開拓に係るを以て内地は叢林野を蔽ひ人家を見ざる所多けれども又新設の道路少なからず現今鐵道も亦全通するに至れり

本州の北端青森より北に向て航行し津輕海峡を渡れば渡島の函館に至るべし函館は往昔河野某館を此に築きて之れに據りしが幾くもなく蝦夷の破る所となる河野の館趾箱に似たるを以て箱館と名く港は西南に向ひて巴字形をなす故に人呼で巴港と稱す水深くして大波なく大船巨舶をして安全に碇泊せし

○北州の古今

○函館の形勢

○五稜郭の
形状

ひるを得我國唯一の良港なり
 函館の東北五稜郭は安政年間箱館奉行の築し所にして砲臺あり形五稜をなすを以て名く維新の歴史に關して名あり世に函館水と稱するは其の外壕にて製するものなり函館より函館灣を廻行し右に千軒嶽を望みて西南行すれば福山に至る元と松前氏の城居せし所にして往時は松前と稱せり當地諺に松前二千軒箱館千軒と稱したりしが現今は箱館に數歩を譲るに至れり
 福山より渡島國の西海岸を北行すれば後志國の域に入り左に奥尻島を望み進みて辨慶岬近傍を過ぎ後志川を渡り積丹半島の頸部を過れば小樽港に至る
 小樽は箱館に亞ぐ要港なり現今北海道に輸入する貨物は箱館より小樽に至り夫れより札幌の内地に輸送するを常とす小

○小樽及び
札幌の景

○石狩川と
天鹽川

樽の東南石狩國の域に札幌あり
 札幌はもと開拓使本廳の在りし所にして現時は北海道廳及び第七師團司令部の所在地なり又農學校の設けあり市街井然として交通便利なり
 札幌より北行すれば石狩川を渡る此の河は我が國第一の長河にして長さ百二十七里とす中流に神居古潭の險ありその河口は有名なる鮭の漁場なり此れより海岸地方を北行して天鹽國境に入れば増毛あり良港にして小樽と交通頻繁なり増毛より北行すれば天鹽川を渡る此河は長さ七十里本道第二の大河なり水緩かなれども河口は風浪荒くして泊舟に不便なり又その河流は濁流殊に甚し
 北州の西部地方は即ち渡島後志石狩天鹽の地にして所々に山岳蟠屈すれども石狩川及び天鹽川の沿岸に大原野あり石狩原

○西部地方
の形勢

野は地味概ね膏腴にして農桑牧畜に適すその上川地方は北州の中央にして他日一都府を立て離宮を設けらるる豫定なりといふ又本島の川は屈曲して四流すれども其狀他の川流と異なりその屈曲は年々融雪の時位置を變し隨て河口を改む後志渡島は土地狭くして廣原大河なし此の地方には鮭鱒鱈鱉の漁獲多し又渡島邊の海上には昆布を産し石狩は石炭を出す

◎東北部地方旅行

天鹽川を渡りて北見國の境に入り利尻禮文の二島を見て東北行すれば北州の最北端なる宗谷岬に至る宗谷岬は樺太に對し咽喉の地なり此れより東南に廻り砂丘多き海岸を通じ猿間湖邊を過ぎて常呂川を渡れば網走に至る此の港は軍港商港何れにも適す近傍に網走湖あり湖中水藻多くして綠色を呈す猿間網走二湖は共に海水と相通じ即ち鹹湖なり

○猿間湖と網走湖

○西別川

○根室の景勢

○北部の形勢

網走より海岸に沿ひて東行すれば知床半島ありその中途より東南行して斜山里近傍を過ぎ根室國の境に入れば西別川を渡る知床半島には盛んに硫黄を産す所謂硫黄山と稱するものは是れなり西別川は大に鮭鱒を産し其の水源に産卵場あり此れより本道第二の大湖たる楓蓮湖邊を過ぐれば根室港に至る室根は灣口にありて辨天島其前に横はり千島に渡る要津にして辨天島には燈臺の設けあり其對岸は根室市街にして道廳の支廳あり頗る繁華なり其花咲港は根室と相反し冬日氷結するに當りては船舶皆花咲港に入るを常とす北州の東北部地方は即ち北見根室の地にして北見は國中山嶽多けれども海岸及び諸川の沿岸には平原ありて地味最も肥沃なり根室は北方及び西部に山嶽あれども他は概して高原平野なり

○釧路の景
状

根室より南岸地を西南に行けば釧路國に入り厚岸港あり大黒島其前に横はりて風波を拒き且つ水深きを以て舟泊に便なり港の内部に厚岸湖あり蠟を産するを以て名あり此れより西行すれば釧路港あり釧路川上流の地方は大に硫黄を出す訓路はその産を輸出する要港たり又其上流地方には釧路湖阿寒湖等ありて雌阿寒雄阿寒等の山嶽あり釧路川を渡りて海岸に沿ひ西南に行けば十勝國の境に入り十勝川を渡る河口に大津あり當國の大村にして昆布の採取盛んなり此れより西南行して日高國の域に入り襟裳岬邊を過ぎ西南行すれば沙流川を渡る此の川の沿岸及び十勝川本支流の沿岸にはアイノ人の部落甚だ多く平取村最も大にして其の地に源義經の祠あり此れより尙は海岸地方を岸北に進めば膽振國の境に入り室蘭港に至る

◎南方地方旅行

○十勝の形
勢

○室蘭の形
勢

○北州南
の形勢

室蘭は渡島に渡るの要津にして港内水深く船舶の碇泊極めて便なり此地第五海軍鎮守府の所在地たるべきの豫定なり室蘭の西北に洞爺湖あり湖邊よりは南に有珠嶽を望み北に蝦夷富士の稱あるマクカリ嶽を見る洞爺湖の東北に支笏湖あり惠庭樽前の諸山その周圍に聳立せり北州の南部地方は即ち釧路十勝日高膽振の地にして十勝釧路は根室と共に概ね高原なり所々に山岳蟠屈すれども釧路十勝の灌域及び札幌より室蘭に至る間は地頗る平坦なり十勝は平沙の海岸より上りて一の段階を造り大なる高原をなし地味は高燥肥沃なり日高は日高山脈起伏すれども新冠高原は耕牧に適し大に馬を産す

◎千島地方旅行

千島諸島は根室國の海上より斜に東北に連亘する三十餘島

り成るその廣さは四國と畧ぼ同一にして近海は霧深く風波暴く其海岸は斷崖多くして船舶の碇繫に便ならずといふ殊に諸島の中央に深き海峡ありポーフリと稱し諸島を二つに分つ其西南に在るを國後といひ北端なるを爺嶽といふ又南端泊村あり國後の東南に色丹島あり頗る良港とす此島に神威岬あり其近傍にナモカイ岩及びメノコ岩あり土人以て神となし通舟帆を下して過ぐ又國後の東北に擇捉島あり千島諸島中最大なるものとす此の島は往年近藤守重の渡航してアイヌ人を撫育し露人の建る所の十字架を撤去し我が國の標柱を立てし所なり擇捉の東北に得撫新知幌筵の嶋ありて最東北に在るものを占守島とす現時本州の有志者移住して開墾に従事せり本島は地勢平夷にして池沼あり又良港に富むといふ幌筵の北方にある阿頼島は實に我國の極北地とす

○擇捉及び
占守島の
形状

○千島諸島
の形勢

千島諸島は域内山脈連互し平地少なし河は短くして流れ急駛なり海岸は險惡にして霧深く浪荒し北州は氣候一般に寒く冬季は諸地方氷點以上に昇ること殆んど稀に盛暑と雖も尙ほ二十度以下にありて恰も西南地方の仲春の如し其極寒の地は上川なりといふ

本州は漁業非常に盛大にして我國第一とすその最も多額なるは鮭鱒にして昆布海苔の類も亦頗る多し千島の近海には海獸及び魚類海草に富む

○土人の風
俗

本島の土人はアイヌと稱し往昔より此地に往居せしが漸々減少し千島列島及び山間諸方に棲息す而して本島の主要なる地は漸次本州人之に移住せりアイヌは未開の人民にして風俗言語全く我國人に異り男女皆被髮にして洗足なるもの多し夏日はアツシと稱する檜樹の亞皮を以て織りたる粗布の上衣を被

り左衽にして女子は一般に唇に文身を施し男子外出するに際し「マギリ」と云ふ小刀を帯ぶ又其家は數本の木を土中に建て藪ふに萱茅の類を以てし僅かに風雨を避く又屋外の垣に獸類の鬣を懸けて家族の勇を示す亞米利加土人臺灣北部の蠻民と風俗相似たり

◎全國の交通

本州東區の道路は東京を元として諸道四方に出す西の方太平洋の沿海地方を通ずるものは東海道と稱し西の方内地の中央部を通ずるものは中山道と稱し北の方本州東北部の中央地に至るものは陸羽街道一に奥州街道と稱し其東北部の海岸地向ふものは濱街道と稱す其他北陸道地方に北國街道あり鐵道は概ね此等の街道に沿ふ

本州西區の極東部にては東海道の往還本州東區の西部より直

ちに京都に入り東海道鐵道も亦略ぼその往還に従ひて此に來り更に西南走す且諸要地間を聯絡する多くの街道ありて鐵道概ね此れに沿ふ中國にては山陽道は山陽街道あり鐵道概ね之に沿ふ又山陰道は山陰街道あり此の山陰山陽兩街を聯絡する二三の街道あり

四國にては阿波の徳島を元とせる主要の街道三あり一は西北走して讃岐に入り又南西折して伊豫に入る一は吉野川の沿岸地を西走し伊豫に入り前者と相會す又一は沿海路と内地路との二者によりて土佐に入る此地伊豫土佐間に二三の小往還あり而して又一二の鐵道あり

九州にては九州街道東北端より起こりて西南行し西岸に至りて南行し南部地方に至る東海岸にも亦重要な街道あり南行して南部地方に至り九州街道と相會す北部地方には現時鐵道

數條あり
臺灣區は道路の完全なるもの臺北彰化嘉義を経て臺南鳳山に達するものあるのみ其他は山間を通過し道路險惡にして通行甚だ難し鐵道は臺北より起り西南新竹を経て香山に達し東北基隆に達す

北州は完全せず道路頗る困難なりと雖も海岸の地は稍々開け二三の鐵道また之れに沿ふて市設せられ又新設の道路少なからず

又航路は四面海を繞らす國なるを以て航通の便に富み河湖内海の交通すべきもの多く日本郵船會社は横濱を中心とし西は四日市神戸長崎臺灣支那及び朝鮮の諸港東は萩の濱箱館小樽根室千島列島及び浦蘆斯德の間を往復し或は南の方フィリピン群島のマニラ安南のサイゴン爪哇孟買に至ることあり

又大坂商船會社は大坂を中心として専ら關西の運送を業とし内海の沿岸諸港を往復し馬關を経て伯耆の境に至り南は徳島及び和歌山等の間を往復し九州の南部長崎及び臺灣に至る從來大坂は全國港路の中心となり西海の物品を東國に出し北海の物品を内地に送らんとするも一度は大坂に送り更に之れを他方に送る習慣なりしが汽船帆船の行はるゝに至り大にその模様を改めたり

電信は現時全國主要の市邑には概ね電信局の設けあり但し九州本州と四國本州と北海道本州と佐渡とは海底電線に依りて相通ず又臺灣海底電線は澎湖よりの臺南臺北を経て支那の福建省に通じ以て大陸に連絡す

全國名所案内終り

大正十五年九月一日印刷
大正十五年九月十日發行

內檢
務閱
省濟

複製
不許

全國名所案内

定價壹圓貳拾錢

著者 谷口政德

大阪市北區伊勢町

發行者 小原信夫

大阪市南區大賣寺町

印刷者 田中松之助

大阪市北區伊勢町

博文館

振替大阪七八〇〇九番

終

